

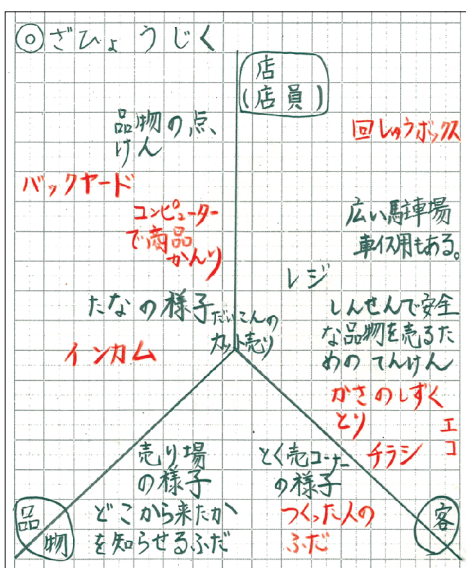
思考ツールの活用

児童生徒の思考力を育成するためには、一人一人が自分で考えたり、対話したりすることを通して、共通点や相違点を見出したり、多様な考えを統合したりして、自分の考えを表現することが大切である。頭の中にある知識や新しく得た情報を一定の視点や枠組みにしたがって書き出す思考ツールは、思考を可視化するうえで有効である。

1 思考ツールの効果

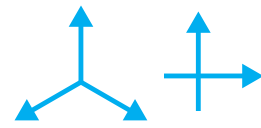
- ①思考の可視化：思考を目で見えるようにすることで、比較したり、関連付けたりすることができるようになる。
- ②思考の整理：自分や友達の考えをグルーピングしたり修正したりしやすい状況が生まれ、新たな考えにつながる。

2 思考ツールの実践例



■思考ツール：座標軸

小学校第3学年 社会



考えを分類・整理する

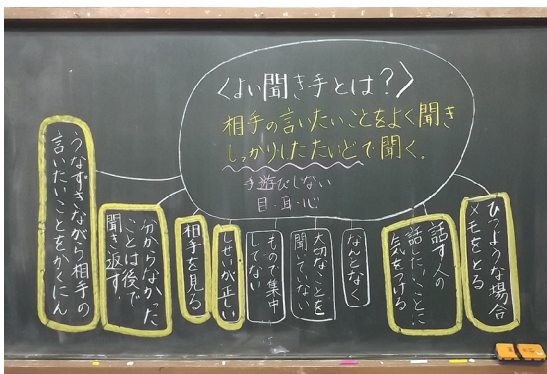
●単元：スーパーマーケットで働く人々

●課題

「今まで学習したことを話し合っ思考ツールにまとめ、単元の学習問題の結ろんを考えよう。」

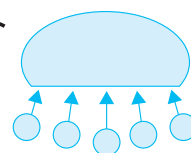
●活用の効果

スーパーマーケットで働く人はどのように工夫して仕事を行っているかまとめを考える場面で、3つの視点(店、品物、客)から情報を分類・整理することで、多面的に思考することができた。



■思考ツール：クラゲチャート

小学校第3学年 国語



考えをまとめる

●単元：よい聞き手になろう

●課題

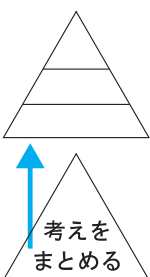
「いつもの話の聞き方を振り返り、よい聞き手とはどのような聞き方をする人か考えよう。」

●活用の効果

よりよい聞き手を考える場面で、事実から理想とする姿を考えたことができた。

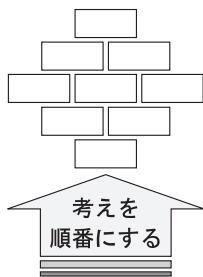
3 その他の思考ツール

ピラミッドチャート



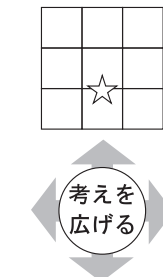
いくつかの情報や知識を統合して考えるときに活用できる。

ダイヤモンドランキング



情報や知識を序列化して理由や根拠を示しながら考えるときに活用できる。

マンダラチャート



中心に考えたいことを記入し、周辺に考えたいことから生まれてきた言葉を書き込み、アイデアを広げることができる。

※その他、思考ツールの資料は、「市の共有フォルダ」に保存してあります。御活用ください。